

大岡の風7月



令和5年6月30日
横浜市立大岡小学校
TEL (711) 0818
FAX (713) 3563

「After コロナ」の学びの在り方を探る

校長 馬渡 照代

先月は、5年生の子どもたちが、三浦方面に宿泊体験学習に行ってきました。農業体験や磯遊びなど三浦ならではの活動ができ、子どもたちは、とても楽しかったようです。また、キャンドルファイアーや部屋での活動などで友だちとの絆を深めることができ、充実した2日間となりました。この経験を生かして更に成長し、高学年として活躍することを期待しています。

さて、6月の下旬に新型コロナウイルス感染拡大が、久し振りにニュースで取り上げられました。まだまだ油断できない存在であり、学校としても気を引き締めているところです。引き続き、手洗い・うがいなどの感染対策をしっかりと取るよう、子どもたちに呼びかけていきます。

しかしながら、世の中は、少しずつコロナ禍以前に戻りつつあるように思います。私の住んでいる地域では、4年ぶりに町内のお祭りが行われ、御神輿を大勢の子どもたちが引いていました。「ワッショイ。ワッショイ。」の威勢のよい掛け声が町中に響き渡り、聞いていてとても心地よかったです。「暑い中、大変だな。」と思いつつも、日常が戻ってきたような気がして、とても嬉しくなりました。夏の風物詩、花火大会もあちこちで復活するようですので、今から楽しみで仕方ありません。

学校も、以前からお話ししているように、取舍選択をしつつも戻すべきことは戻そうと模索しています。6月から始まった水泳学習では、昨年は、各学年、クラスごとに1回だけ入りましたが、今年は、学年全体で4回入る予定にしました。ここ3年間は、ほとんど水泳学習を行っていませんでしたので、一気に元に戻すのではなく、子どもたちの体力に合わせて、計画を立てました。教師も、子どもたちと同様、水泳指導を経験していない人が増えてきましたので、しっかり研修を行って水泳学習に臨んでいます。子どもたちは、久し振りに大人数で入ることを楽しみにしていましたので、学年全体で実施できたことをとても喜んでいるようでした。

しかし、水泳とは違って、本格的に始めることで少々苦勞している教科もあります。そのひとつが、音楽です。音楽では、歌ったり楽器を演奏したりする場合、呼吸が必要になることが多くなります。歌では、「息を大きく吸って、その息を使ってお腹から豊かに声を出しましょう。」と、呼吸の大切さを説きながら指導します。リコーダーでは、吸った息を吐くことで音を出します。両方とも、コロナ禍では、「窓を全開に。人と人の距離は、2m前後取って。向かい合って演奏してはだめ。」など1番制約を受け、実施できない期間も長くなりました。

特にリコーダーは、エアロゾル感染が懸念されたため、息を吹き込まずに「エアリコーダー」と称して、運指の練習を中心に行っていました。本来なら呼吸の調節や指穴をしっかり押さえることで、きれいな音や正しい音階を身につけることができるのですが、そういう経験が非常に少なかったため、苦勞している子が多くいます。

本来なら、リコーダー奏は、多くの子どもたちが好む学習でもありますので、何とか興味をもって取り組めるように、私も、サポートしたいと思っています。そう思っていましたら、早速3年生の子どもたちが、リコーダーの練習のために校長室を訪ねてくれました。指の押さえ方のポイントやタンギングのこつを伝授し、楽しいひとときを過ごすことができました。できたときの子どもたちの輝く笑顔が、とても印象的でした。

音楽科の専科教員も、子どもたちが、楽しく演奏に取り組めるように、工夫をしながら指導しています。もしご家庭で、子どもたちがリコーダーの練習をしていたら、「ピキーッ！」とちょっと「？」と思う音が鳴っても大目に見ていただき、諦めずに練習するよう励ましてください。大岡っ子の粘り強さに、大いに期待したいと思います。

今月は、いよいよ6年生が、小学校生活最後の宿泊体験学習である「修学旅行」に出かけます。子どもたちも教師も、時間を掛けて準備してきました。当日は、暑いことが予想されますので、熱中症対策をしっかりと行って、子どもたちの健康に十分配慮していきたいと思っています。その上で、子どもたちには、鎌倉の自然や文化を堪能し、友だちと過ごす時間を楽しみながら、思い出に残る旅にして欲しいと願っています。